

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	リベラルアーツ特論2 (データの統計学的解析)	
科目基礎情報							
科目番号	4AR30			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書: 指定しない。 教材: プリント等を配布する。						
担当教員	菰田 智恵子						
到達目標							
1. LMSの基本的なシステムを理解する。 2. LMS上に開発した成果物を実装する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	LMSのシステムを十分理解している。			LMSのシステムを理解している。		LMS自体を知らない。	
評価項目2	LMS上に、開発した成果物を実装し、試験的運用を開始した。			LMS上に、開発した成果物を実装できるまでには至らなかったが、成果物は完成した。		LMS上に実装する成果物が開発できなかった。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	LMSの一つであるMoodleは、九大・九工大など多くの大学で利用されている学生の主体的な学びを応援する学習支援システムである。 数学学習においては、2Dや3Dのグラフをシンデレラというソフトを利用して作成したものをMoodle上で動的に動かしたり、最もシンプルな言語であるHTMLを用いて、教務支援システムを開発し、Moodleに実装することを目標とする。						
授業の進め方・方法	グループワーク形式で授業を行う。総合課題として、グループごとにテーマを決めてMoodleに実装する成果物を開発する。 大別して、2つのテーマに分かれる。2つのテーマのうち、1つを選び開発を進める。 テーマ1: HTML言語を用いて、教務支援システムを開発しMoodleに実装する。試験的運用を目標とする。例としては、本校学生が開発し、一昨年まで稼働していた「時間割システム」を新システムとして蘇らせる。 テーマ2: 数学学習における2Dや3Dのグラフをシンデレラ (シンデレラは欧州学術ソフトウェア賞を受賞した動的幾何ソフト) で作成し、作成したグラフをMoodle上で動的に動かす。						
注意点	評価基準: 研究活動の発表内容およびその成果物などを総合的に評価する。。60点以上を合格とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	LMSの概要				
		2週	LMSの利用方法				
		3週	総合演習Ⅰ				
		4週	総合演習Ⅱ				
		5週	総合演習Ⅲ				
		6週	総合演習Ⅳ				
		7週	総合演習				
		8週	総合演習Ⅵ				
	4thQ	9週	総合演習Ⅶ				
		10週	総合演習Ⅷ				
		11週	総合演習Ⅸ				
		12週	総合演習Ⅹ				
		13週	総合演習Ⅺ				
		14週	研究発表Ⅰ				
		15週	研究発表Ⅱ				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	25	15	0	60	0	100
基礎的能力	0	10	5	0	20	0	35
専門的能力	0	5	5	0	20	0	30
分野横断的能力	0	10	5	0	20	0	35